

TOKAS Project Vol. 4

道と根

Routes/Roots

THE FUTURE IS ART
文化でつながる。未来とつながる。TokyoTokyo
FESTIVAL

2021年8月21日(土)～10月3日(日)

トーキョーアーツアンドスペース本郷

— TOKAS とドイツとの交流を振り返る日独のアーティストによる展覧会

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、Tokyo Tokyo Festival の一環として「TOKAS Project Vol. 4」を実施します。トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)では、2001年の開館以来、海外のアーティスト、キュレーター、アートセンターや文化機関などと協働して展覧会や関連プログラムを実施してきました。2018年より開始したTOKAS Projectは、国際的な交流を促進し、多文化的な視点を通じて、アートや社会など、さまざまなテーマについて思考するプロジェクトです。

TOKASでは2011年に友好都市提携を結ぶベルリン市と東京都の間で、双方向にクリエイターを招聘・派遣する文化交流事業「二国間交流事業プログラム」を開始し、ベルリンのクンストラウム・クロイツベルク/ベタニエンでの滞在制作の機会を提供してきました。

本展では、TOKASとクンストラウム・クロイツベルク/ベタニエンとの交流10周年、ならびに日独交流160周年を記念してベルリンを拠点に制作活動を行うアーティストを紹介します。

■ 展覧会概要 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、変更となる場合があります。

展覧会名: TOKAS Project Vol. 4 「道と根」

英語タイトル: TOKAS Project Vol. 4 “Routes/Roots”

参加アーティスト: 杉藤良江、武田竜真、シンゴ・ヨシダ

マーティン・エブナー、ヨアヒム・フライシャー、ステファニー・ガウス

会期: 2021年8月21日(土)～10月3日(日)

会場: トーキョーアーツアンドスペース本郷(東京都文京区本郷2-4-16)

開館時間: 11:00 - 19:00(最終入場は30分前まで)

休館日: 月曜日(8/30、9/20は開館)、9/21

入場料: 無料

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース

後援: ドイツ連邦共和国大使館、ゲーテ・インスティトゥート東京

ウェブサイト: <https://www.tokyoartsandspace.jp/>日独交流160周年
Jahre Freundschaft
Deutschland - Japan

<お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース (公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

■ 展覧会について

他国の都市に比べ、社会構造的にアーティストが生活しやすく、また、芸術活動のコミュニティが成り立ちやすい環境にあるベルリンには、世界中からアーティストが集まり活動しています。本展で紹介する杉藤良江、武田竜真、シンゴ・ヨシダも、数年来ベルリンに拠点を移し、言語も文化も異なる環境に対応しながら、ヨーロッパならではの歴史性や多様性などについて、多角的な視座を持って制作に取り組んでいます。彼らは、ドイツ在住の日本人アーティストを対象とした TOKAS のレジデンス・プログラムに参加し、クストラウム・クロイツベルク/ベタニエンを発表の場として活用しながら、これまで自身が培ってきたネットワークを活かした活動や交流を通じて、各々の知見を広げました。

今年、奇しくも 3 名のアーティストはそれぞれ別の理由でベルリンを一時的に離れ、再び故郷とは異なる土地での生活を始め、制作を進めることになりました。

本展では TOKAS とクストラウム・クロイツベルク/ベタニエンとの交流 10 周年、ならびに日独交流 160 周年を記念して、彼らが着目する伝説や伝統、文化などをテーマとした作品を紹介するとともに、過去に TOKAS で滞在制作を行い、現在ドイツを拠点とするマーティン・エブナー、ヨアヒム・フライシャー、ステファニー・ガウスがユニークな視点で日本を捉えた映像作品も上映します。

ある場所へ辿り着くための道程と、その土地に根差し、痕跡を残していくこと。そして次の場所への道筋を描いて軽やかに旅立っていくこと。本展では、彼らの作品をとおして、その長い旅程の積み重ねを経て形成された土壌と、そこから芽吹いてきたカルチャーを示します。

※2021 年 3 月をもって TOKAS は、クストラウム・クロイツベルク/ベタニエンとの交流事業を一旦終了することとなりましたが、今後もドイツとの交流事業を継続する予定です。

■ 関連イベント

詳細は TOKAS ウェブサイトで発表します。

参加クリエイター／広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。広報担当までお問い合わせください。

杉藤良江 | SUGITO Yoshie

社会的な交流や、日常行為の中で出会う造形的瞬間やイメージの発生について探り、さまざまなメディアで表現する杉藤。中東に伝わる伝統的なコーヒー占いや、主体と客体を切り替える装置として取り入れたパジャマをモチーフに、インスタレーションを展開します。

【プロフィール】1985年愛知県生まれ。ニューヨーク/ベルリンを拠点に活動。2013年ブラウンシュヴァイク美術大学マスターシューラー修了。主な展覧会に「NEST NESTER」(Einstellungsraum、ハンブルク、ドイツ、2020)、「dM+ vol.1 国立奥多摩美術館「国立奥多摩湖」～もちつもたれつ奥多摩コイン～」(dM、東京、2020)など。



1. 《Coffee Reading》
2019
紙に油彩、木、粘土

武田竜真 | TAKEDA Tatsuma

武田は、自身の作品における「メディア」という概念を、絵画彫刻といったいわゆる古典的アナログ美術の「媒体」と捉え、共通言語としての美を探ろうとしています。本展では、中世西洋の植物を描いた静物画から着想を得た「Skin Deep Beauty」シリーズを発表します。

【プロフィール】1988年熊本県生まれ。アムステルダム/ベルリンを拠点に活動。2020年ドレスデン美術大学カールステン・ニコライ研究室マスターシューラー課程修了。主な展覧会に「Inner Cosmology」(金沢21世紀美術館、石川、2021)、「VOCA展 2021 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」(上野の森美術館、東京)、「Skin Deep Beauty」(Cité internationale des arts、パリ、2020)など。



2. 《Skin Deep Beauty (No. 3)》
2016
アクリル絵の具、樹脂、鉄、フェルト

シンゴ・ヨシダ | YOSHIDA Shingo

世界各地のマイクロ社会文化への興味から、各地に伝わる神話や、自然に対する人間の営みやその無力さを主題に映像作品を制作する吉田。本展では、友人を訪ねて出向いた、フランスとスペインの国境沿いにある小さな村に伝わる伝説をもとに制作した映像作品を中心に紹介します。

【プロフィール】1974年東京都生まれ。マルセイユ/ベルリンを拠点に活動。2007年パリ国立高等美術学校大学院 プログラムラ・セヌ 修了。主な展覧会に「UN Conference on Climate Change, COP23」(国連気候変動枠組条約第23回締約国会議、ベルリン/ボン、ドイツ、2017)、「大地に立って／空を見上げて—風景のなかの現代作家」(群馬県立館林美術館、2016)など。



3. 《ルーデット、ルーデット、蛇から私を守ってください》
2020
映像

ドイツ在住のアーティストによる映像作品上映

マーティン・エブナー | Martin EBNER

2017 年度二国間交流事業プログラム<ベルリン>参加

上映予定作品:

《Untitled (Tokyo)》(2017)、《Drop Car》(2018)

【プロフィール】1965 年生まれ。ベルリンを拠点に活動。1993 年ウィーン応用美術大学卒業(ビジュアルメディア)。近年は主に映像作品やインスタレーションを主軸に制作している。主な展覧会に「Palydos」(SWALLOW、リトアニア、2020)、「Walking in ice」(XC.HuA Gallery、ベルリン、2020)など。



4. 《Untitled (Tokyo)》
2017
ビデオ

ヨアヒム・フライシャー | Joachim FLEISCHER

2013 年度リサーチ・レジデンス・プログラム参加

上映予定作品:

《Slow Light – Scanning Tokio》(2014)、
《Münsterscanning》(2015)、《Tomogramm》(2018)、
《White eats Black》(2018)

【プロフィール】1960 年生まれ。シュトゥットガルトを拠点に活動。光をテーマに大規模なインスタレーションを発表している。主な展覧会、プロジェクトに「Inversion」(Kunsthalle Göppingen、ゲッピンゲン、ドイツ、2021)、「Kunst ist Lebensbereicherung (Art is life enrichment)」(Akademie der Diözese Rottenburg、シュトゥットガルト、ドイツ、2020)ほか。



5.《Slow Light – Scanning Tokio》
2014
ビデオ

ステファニー・ガウス | Stefanie GAUS

2017 年度リサーチ・レジデンス・プログラム参加

上映予定作品:

《モデル農村の大潟村》(2021)、
《Beyond Metabolism》(2014)

【プロフィール】1976 年生まれ。政治や社会文化への影響に対する関心と、空間や建築的な次元への独特の視点が、芸術的実践と映画の基礎となっている。

主な作品に《日本国大潟村》(2021)、《Laufhaus》(2006)など。



6. 《モデル農村の大潟村》
2021
ビデオ

「TOKAS Project Vol. 4『道と根』」
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp